

令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢1 安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野3 人をつくり、地域を守るまちづくり～	
政策5 ともに認めあい、助けあい、分かちあうまちづくり	本文P66～67

基本方針	町民一人ひとりの人権が尊重される地域社会づくりをめざして人権教育・啓発活動を推進するとともに、男女がお互いにその個性と能力を様々な分野で発揮することができる地域社会を推進していきます。
------	--

1-3-5-① 人権尊重社会づくりの推進	担当課	総務課
----------------------	-----	-----

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○人権問題に関する正しい理解を広めること、人権への関心を高めることを目的に、新上五島町人権フェスティバルを開催し約120名の方に参加いただいた。</p> <p>○女性・子ども・高齢者・ジェンダーをはじめ、様々な人権問題の解消に向け、人権擁護委員による人権相談所開設をサポートし、相談体制の充実を図った。</p> <p>○人権擁護委員が実施した「人権教室(心と体を大切に)」にサポート役として参加し、子どもたちへの人権教育・啓発を行った。</p> <p>○町広報紙への掲載やポスター掲示など、人権に関する啓発活動を行った。</p>
SDGsとの関係性	   <p>【選定理由】 人権を尊重した社会づくりを行うためには、ジェンダー平等への理解を深めることはもちろん、平和と公正の追求や多くの関係者との連携・結びつきが必要であるため。</p>
評価(問題点とその要因)	○人権フェスティバル実行委員によるイベントや人権擁護委員の取り組みにより、「平和・人権」に関する意識は年々醸成されているが、イベントや啓発を重ねても一定数の無関心が存在する。要因としては自らが当事者とならない限り、日常生活の中で人権について意識する場面があまりないことが上げられる。
今後の取組方針	○無関心や無理解は、人権侵害を放置する結果や無意識の差別につながるため、「人権」について他人事ではなく自分事・身近なことだと感じてもらうための連綿たる活動が必要。今後も人権擁護委員等と連携し、イベントや啓発といった草の根活動を続け、町民一人一人の意識や理解を高める。

2. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移					達成率	
					上段:目標値/下段:実績値	R2	R3	R4	R5		R6
1 ★	イベント参加者数	人権フェスティバルの参加者数	人	100	110 —	120 80	130 —	140 60	150 120	80.0%	
	《成果指標の進捗状況》					担当課	総務課			R2	
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										D
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	ポスターの掲示や世帯回覧でのチラシ配布・LINEを使った周知を行い、イベント内容として講演の前に町内合唱団の合唱の披露を行うなど工夫を凝らし集客に努めた。講師は子育て世代が気になるテーマでの講演を行ったほか、バザーなども組み入れた。										C
	原因としては、人権に対する関心の低いことにあり、関心を向上させるための広報活動が必要と考える。										R4
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										D
	①課題										R5
	人権というテーマを重たく感じることで参加しづらいという状況が、参加人数が増えない一因としてあるため、より多くの人気が気軽に参加し、人権を尊重した社会への理解を深めてもらえるような啓発の仕方を模索し、イベント来場者の増員を図る必要がある。										C
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										R6
視点を変えたゲストの公演や、女性、子ども、高齢者など様々な分野における人権課題の差別解消に向けた教育・啓発の推進及び相談支援を充実していく。										B	

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	○第2次男女共同参画基本計画に沿って、啓発と庁内推進体制の充実を図りながら、国、県及び関係各機関との連携強化を図り、意識啓発活動や相談体制等の充実に努めた。
SDGsとの関係性	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>16 平和と公正を すべての人に</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナリプで 目標を達成しよう</p> </div> </div> <p>【選定理由】 男女共同参画社会の基本的な考え方は男女平等の上に成立しており、理解を深めることが、平和や公正、ジェンダー平等への関心・理解につながると考えられるため。</p>
評価(問題点とその要因)	○男女共同参画という考え方が、1人1人の価値観による要素が大きく、また、広い分野で適応するものであるため、いきなり事業に落とし込んで理解を促しても難しい。
今後の取組方針	○令和5年度に策定した第4次男女共同参画基本計画を基に、上五島地域男女共同参画地域活動促進会議の推進員、アドバイザーと連携しながら、イベントや啓発活動を行い、男女共同参画への理解度を高める。

2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
1	各種審議会等の委員への女性登用	附属機関等の設置及び運営に関する指針	%	35	35	35	35	35	35	100.0%	
					36.78	39.09	39.13	37.14	37.40		
	《成果指標の進捗状況》					担当課	総務課			R2	
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										A
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	令和6年度末時点では、各種附属委員会・審議会委員数の数は1040名に対し、389名が女性委員となっている。団体数は70団体のうち56団体が女性を登用している。										A
											R4
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										A
	<u>①課題</u>										R5
	新上五島町第4次男女共同参画基本計画に基づき、審議会等女性委員登用率40%以上を目指していく必要がある。										A
<u>②必要な取り組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										R6	
委員等の改選時において女性委員の数を増やす呼びかけを各種団体及び課長会議にて実施する。 女性の視点の重要性を啓発イベント等を実施することで地域全体へ周知し、住民理解を深める。										A	

2次評価委員会からの評価・意見等

<p>人権尊重及び男女参画社会の実現に向けて各種イベントを継続的に実施する必要があります。幼児期からの道徳教育と一人ひとりの理解と意識醸成を図るため継続的な普及啓発活動を行いながら相談支援体制の充実を図り「ともに認めあい、助けあい、分かちあうまちづくり」を引き続き推進して行く必要がある。</p>
--